

調査レポート

2026年1~3月期のGDP(2次速報)予測

~1次速報から下方修正も、景気の見方は変わらない~

調査部 主任研究員 藤田隼平

2026年6月8日に内閣府が公表する2026年1~3月期の実質GDP(2次速報値)は、前期比+0.3%(年率換算+1.1%)と、5月19日に公表された1次速報値の同+0.5%(同換算+2.1%)から下方修正される見込みである。GDPの1次速報後に発表された法人企業統計などの基礎統計の結果が、想定より下振れた。もっとも、2四半期連続のプラス成長は維持されることから、2026年入り後も緩やかな景気回復が続いたとの評価に変わりはない。

具体的な修正点としては、本日発表された1~3月期の財務省「法人企業統計」において、季節調整済みの設備投資(ソフトウェアを含む・名目)が前期比-2.0%と、前期に高めの伸びとなった反動もあって減少したことから、GDP統計の設備投資も下方修正される見込みである。同統計を踏まえると、民間在庫もわずかに下方修正されるだろう。他方、公共投資は3月の国土交通省「建設総合統計」などを踏まえ、上方修正されるとみられる。なお、住宅投資や政府消費、外需については大きな修正はないだろう。

	2024年		2025年				2026年	前期比(%)	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	1-3 (1次)	変化幅 (%ポイント)
実質GDP	0.7	0.4	0.4	0.3	-0.6	0.2	0.3	0.5	-0.2
同 (年率)	2.7	1.5	1.8	1.4	-2.5	0.8	1.1	2.1	-1.0
同 (前年同期比)	0.9	0.6	1.5	2.0	0.5	0.2	0.2	0.6	-0.4
内需寄与度 (*)	0.9	-0.4	1.1	0.2	-0.3	0.2	-0.0	0.2	-0.2
個人消費	0.5	-0.0	0.7	0.2	0.5	0.0	0.3	0.3	0.0
住宅投資	1.3	0.7	-0.5	-0.0	-8.1	5.0	0.5	0.5	0.0
設備投資	0.8	-0.6	0.7	1.2	-0.1	1.4	-0.9	0.3	-1.1
民間在庫 (*)	0.3	-0.3	0.7	-0.2	-0.2	-0.4	-0.1	-0.1	-0.0
政府最終消費	0.0	0.0	-0.2	0.7	0.1	0.4	0.1	0.1	0.0
公共投資	1.3	-0.3	-0.8	0.4	-1.1	-0.2	1.8	1.4	0.4
外需寄与度 (*)	-0.2	0.8	-0.6	0.1	-0.3	0.0	0.3	0.3	0.0
輸出	2.4	1.6	-0.6	1.6	-1.6	0.2	1.7	1.7	0.0
輸入	3.2	-1.9	2.2	1.1	-0.2	-0.0	0.5	0.5	0.0
名目GDP	1.1	1.2	0.8	2.0	0.1	0.9	0.6	0.8	-0.2
同 (年率)	4.7	4.7	3.1	8.2	0.3	3.8	2.4	3.4	-1.0
同 (前年同期比)	3.6	3.7	5.2	5.3	4.0	3.7	3.7	4.0	-0.3
GDPデフレーター (前年同期比)	2.7	3.0	3.6	3.2	3.5	3.4	3.5	3.4	0.0

(注) 内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度(%ポイント)

(出所) 内閣府「四半期別GDP速報」

主な需要項目別の動向は以下の通りである。

- ① 実質個人消費(前期比+0.3%)
 - ◇ GDPの1次速報後に発表された3月の総務省「サービス産業動態統計」がおおむね想定通りの結果だったことから、個人消費は前期比+0.3%と、1次速報から大きな修正はないとみられる。
- ② 実質住宅投資(前期比+0.5%)
 - ◇ 追加された基礎統計を踏まえても、1次速報から大きな修正はないとみられる。
- ③ 実質設備投資(前期比-0.9%)
 - ◇ 2026年1~3月期の法人企業統計において、季節調整済みの設備投資(ソフトウェアを含む・名目)が前期比-2.0%と、前期に高めの伸びとなった反動もあって2四半期ぶりに減少した。この結果、1次速報時点の需要側推計値の仮置き値よりも下振れたとみられ、実質設備投資の伸びは1次速報値の前期比+0.3%から同-0.9%に下方修正される見込みである。
- ④ 実質民間在庫(前期比寄与度-0.1%ポイント)
 - ◇ 2026年1~3月期の法人企業統計を踏まえると、仕掛品在庫を中心に1次速報値から下方修正される見込みである。ただし、小幅な修正であり、前期比寄与度は-0.1%と、前回並みとなるだろう。
- ⑤ 実質政府最終消費(前期比+0.1%)
 - ◇ 追加された基礎統計を踏まえても、1次速報から大きな修正はないとみられる。
- ⑥ 実質公共投資(前期比+1.8%)
 - ◇ 3月の建設総合統計などの結果を踏まえると、1次速報値の前期比+1.4%から同+1.8%に上方修正される見込みである。
- ⑦ 外需(前期比寄与度+0.3%ポイント、実質輸出:前期比+1.7%、実質輸入:同+0.5%)
 - ◇ 輸出、輸入ともに、1次速報から大きな修正はない見込みである。実質GDPに対する外需の前期比寄与度は1次速報値の+0.3%ポイントのまま据え置きとなるだろう。

－ ご利用に際して －

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。